

「Planet Color」

施工マニュアル

— 目 次 —

・ 仕様

・ 施工方法

外部塗装

内部塗装

・ 使用上の注意

OK-DEPOT

埼玉県さいたま市大宮区宮町 3-25

TEL : 048-631-1199

FAX : 048-644-7309

2010724

○仕様

《内部》

	クリアー仕上げ	半透明着色仕上げ
壁、天井、柱、 桁等	グロスクリアオイル又はハードク リアオイルの1回塗り（塗装後拭 き取り）	ウッドコート of 1回塗り
床	ラッペンワックス of 1回塗り（塗 装後拭き取り）又はハードクリア オイル	ウッドコート of 1回塗り又はウッ ドコート塗装後ラッペンワックス of 計2回塗り（塗装後拭き取り）
家具、建具等	グロスクリアオイル of 1回塗り（塗 装後拭き取り）	ウッドコート of 1回塗り（塗装後 拭き取り）
洗面所浴室 等	ベーシッククリアオイル（下塗り） +グロスクリアオイル of 計2回塗り （塗装後拭き取り）	ベーシッククリアオイル（下塗り） +ウッドコート of 計2回塗り（塗装 後拭き取り）

※プラネットカラーは完全乾燥後（針葉樹で約5～7日後）、撥水性はもちろんの
こと、熱いもの（ヤカン、湯のみ、コーヒーカップ等）を塗装面に直に置いては決し
て輪じみは出来ません。又、塗装後拭き取りを行うと、塗装面に毛羽立ちがなく滑
らかに仕上がり、塗面研磨の必要がありません。

《外部》

	塗りつぶし仕上げ	半透明着色仕上げ
外部全般	ウッドコート of 2回塗り 又は OP シリーズ 1回塗り	ウッドコート of 1回塗り 又はベーシッククリアオイル+ ウッドコート of 2回塗り

※水をよく使用する場所は下塗りにベーシッククリアオイルを塗ってください。

※過敏症の方にはラッペンワックス、NS シリーズをお勧めしています。使用前には
必ずパッチテストを行ってください。

※家具のクリア塗装には、熱に強く輪じみができないグロスクリアオイルをお勧め
します。

○施工方法

外部塗装する場合

1. 塗装前の準備

- ・ 木地調整してください。(木表面の汚れカビを除去してください)
- ・ コテバケ、腰の強い刷毛又はスポンジをご用意ください。
- ・ バケツに水を入れてそばに置いてください。

2. 塗装

- ・ 塗料缶を開け、しっかりと塗料をかきまぜてください。
- ※使用する前は必ずよく攪拌(かくはん)してください。ウッドコートの場合は顔料が溜まっています。クリアの場合はオイルが分離しています。
- ・ 少量の塗料を刷毛にとり、しっかりと塗料を伸ばしてください。
- ※塗装する際はよく伸ばして塗装してください。(外部は塗りっぱなし)

3. 塗装後の処理

- ・ 塗装後、使用したウエスやスポンジなどを、用意しておいたバケツの中に入れて処理してください。
- そのまま放置していると、自然発火の可能性があります。
- ※自然発火防止のため、塗装後使用したウエス、スポンジなどは必ず水に浸して破棄してください。

内部塗装する場合

1. 塗装前の準備

- ・ 木地調整してください。(木表面の汚れカビを除去してください)
- ・ コテバケ、腰の強い刷毛又はスポンジをご用意ください。
- ・ バケツに水を入れてそばに置いてください。

2. 木地調整

- ・ 塗装する木材の表面は、少し粗めのサンドペーパー(#150 から#180)で仕上げてください。

3. 塗装

- ・ 塗料缶を開け、しっかりと塗料をかきまぜてください。
- ※使用する前は必ずよく攪拌(かくはん)してください。ウッドコートの場合は顔料が溜まっています。クリアの場合はオイルが分離しています。
- ・ 少量の塗料を刷毛にとり、しっかりと塗料を伸ばしてください。
- ※塗装する際はよく伸ばして塗装してください。内部は塗装後、すぐ拭き取ります。(拭き取りの際は、塗装面のベタツキが残らないようにしっかりと拭き取りをしてください)

4. 塗装後の処理

- ・ 塗装後、使用したウエスやスポンジなどを、用意しておいたバケツの中に入れて処理してください。

そのまま放置していると、自然発火の可能性があります。

※自然発火防止のため、塗装後使用したウエス、スポンジなどは必ず水に浸して破棄してください。

○使用上の注意

自然発火のメカニズムと対策

プラネットカラーの主成分亜麻仁油（天然の植物油）です。植物油は、空気中の酸素を取り入れながらゆっくりと乾燥しますが、その際にごく微量の熱を放出します。塗装の際に使用したウエス（ぼろ布）などを丸めて放置しておく、熱は逃げ場を失って少しずつ内にこもり、自然発火を引き起こすことがあります。

塗装後のウエスなどは必ず水に浸すか、焼却処分してください。

ウエスを何時間もそのまま放置すると、自然発火の危険性がより高くなります。